

トピックス

「基礎学力定着プログラム」について

～じっくり しっかり くり返し 基礎的・基本的事項の確実な定着を目指して～

指導 1 課

1 はじめに

学校教育の中で特に重視したい教育活動の一つが、「生きる力」の基盤となる基礎的な知識や技能を児童生徒に身に付けさせることである。

さいたま市教育委員会では、これまで、きめ細かな指導を通して学力を高めるために、個に応じた指導の充実を図る少人数指導や、本市の特定の課題等に関する研究を委嘱し、各校の教育力の向上を図る研究委嘱事業などに取り組んできた。これらに加え、基礎的・基本的事項の重要性から、その確実な定着を図るための取組を、「基礎学力定着プログラム」として策定し、学校、家庭、地域と連携を図りながら、推進してきた。

2 本プログラムの目標

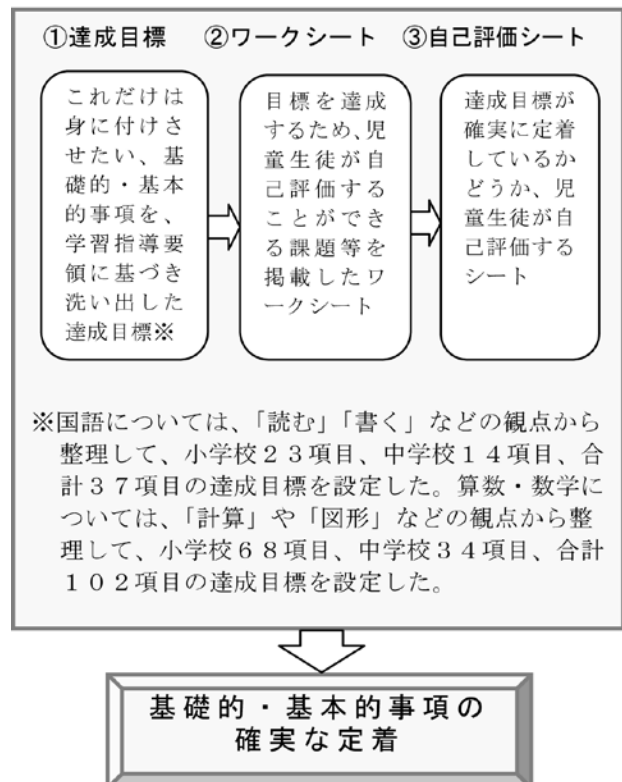
「基礎学力定着プログラム」の目標は以下のとおりである。

本プログラムでは、これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標とする。

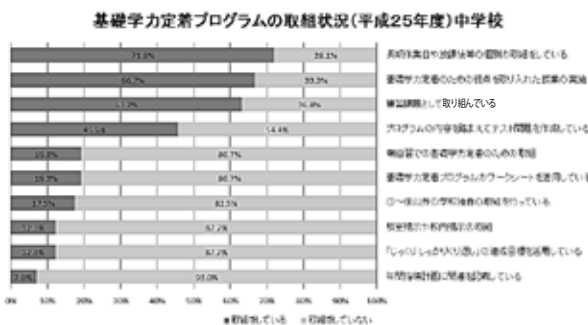
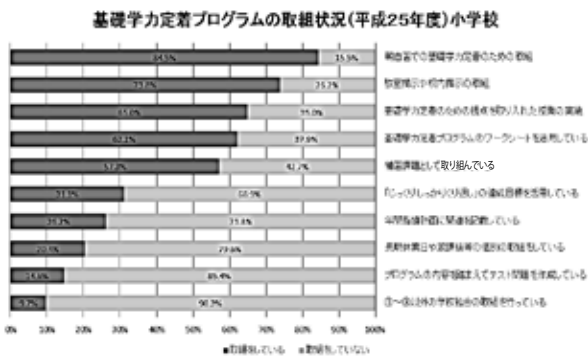
<基礎的・基本的事項>

日常生活において、また、学習を円滑に進める上で不可欠であり、各教科で確実に身に付けておきたい内容

「基礎学力定着プログラム」は、漢字の読み書きができる、乗法九九を覚える等、これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、「分かった、できた」という感動を伴って、「じっくり しっかり くり返し」学ぶことにより、目に見える学力として子どもたちに身に付けさせようとするものである。その実現のためには、各学校が各教科の授業における基礎的・基本的事項に関する指導をより一層改善することはもちろん、朝自習や家庭学習などを含め、様々な場面で、教職員が足並みをそろえて継続的に取り組むことが必要である。



3 各校における取組状況 (H26 学校調査より)



各学校においては、基礎的・基本的事項を繰り返し学べるように、様々な工夫した実践が積み重ねられている。

朝自習で

「〇〇タイム」として全校一斉にワークシートを活用

教室に設置したワークシート棚から、児童生徒が自由にワークシートを選び学習に取り組む。教師は個別に質問を受けるなどし、自己の課題に応じた取組を進められるよう支援している。



授業中に

単元の初めにワークシートを活用

新しい単元の最初に、レディネステストとして、児童生徒にワークシートを配付、実施することにより、教師は児童生徒のつまずき箇所を把握し、学習指導に役立てている。

補習で

放課後の補習や定期テスト前等においてワークシートを活用

教員、保護者、地域の方々と触れ合いながら、つまずきの多かった事項に係るワークシートを活用し、学習をしている。



家庭学習で

金曜日の宿題としてワークシートを活用

土曜日や日曜日に、保護者と協力して学習に取り組めるよう、金曜日の宿題としてワークシートを配付している。

音読カードに音読のポイントを掲載

基礎学力定着プログラムの「読むこと」に示されたポイントを音読カードに記載し、繰り返し取り組ませている。

長期休業日に活用できるようにワークシート集を配付

学んだことの確実な定着を図るため、自主的に学習を進められるプリント集として配付している。

4 おわりに

子どもたちにとって楽しい授業とは、「分かった」「できた」という喜びが感じられ、「力が付いた」と実感することができる授業である。

各学校においては、本プログラムを推進するとともに、各教科においても学校の実態に合わせて工夫改善を図り、児童生徒の基礎的・基本的事項の確実な定着に努めることが大切である。

今後も、基礎学力の定着に向け、本プログラムの活用を図られたい。